

— Am die Musik〜音楽に寄せて



邑の森ホールで味わう名曲の旅

横山幸雄

ピアノリサイタル

PROGRAM II

ベートーヴェン
ピアノソナタ第17番「テンペスト」
ピアノソナタ第23番「熱情」

横山幸雄
オマージュ・ア・ラフマニノフ〜ヴォカリーズ〜
ショパン
バラード第1番
ノクターン嬰ハ短調 遺作
幻想即興曲
シューマン=リスト
献呈
リスト
愛の夢 第3番
ラ・カンパネラ

～オープニングスペシャルステージ～

リサイタルに先立ち、13時45分より横山幸雄と邑楽町出身の新進ピアニスト坂原董礼によるスペシャルステージを行います。横山幸雄作曲の「カルメンの誘惑と幻想」を、師弟共演による連弾でお聴きいただけます。演奏が始まりますと会場に入ることができませんので、ぜひお早めにお越しください。

2023年

7月15日(土)

開場 13:15 / 開演 14:00

おうらまち

邑楽町中央公民館

むら

邑の森ホール

群馬県邑楽郡邑楽町大字中野2569-1(邑楽町役場となり)
0276-88-1177

©ZIGEN

チケット: 4,000円 全席自由

※なくなり次第終了

プレイガイド 邑楽町中央公民館

受付時間 9:00-22:00
(月曜日を除く)

主催・問合せ先: 邑楽町中央公民館

邑楽町でのリサイタルに寄せて



僕にとって邑楽町中央公民館でのリサイタルは初めてのこととなりますが、リサイタルに先立って2月に公開レッスンで伺いました。

木の温もりが感じられるホールで、受講者はもちろん聴講された地域の皆さまと共に有意義なレッスンをすることができました。

この素晴らしいホールの響きをリサイタル前に体験できましたので、その響きを想像しながらリサイタルの準備をしたり、また一回きりの演奏会だけではない近隣の方たちとの触れ合いが出来るということも、楽しみなことです。

当日の演目はベートーヴェンに始まりショパン、そしてリストに終わるプログラムですが、第二部の冒頭には今年生誕150年を迎えるラフマニノフへのオマージュの気持ちを込めた自作も盛り込みつつ、多くの皆さまにとっても親しみやすい作品も多い構成となっています。

近年演奏会に行く機会が減っている方も多かったかもしれませんが、映像やCDなどでは伝わりきらないライブとしての響き、そして緊張感や空気感など、思う存分楽しんでいただけたらと思います。

横山幸雄

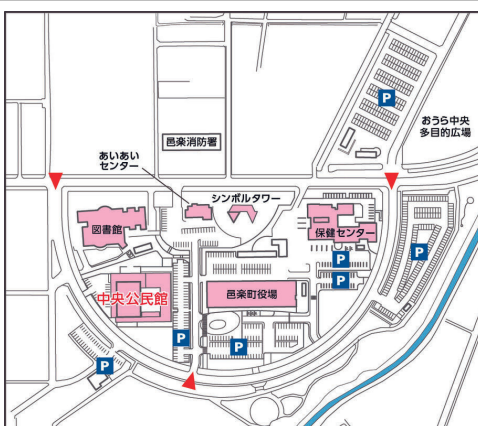
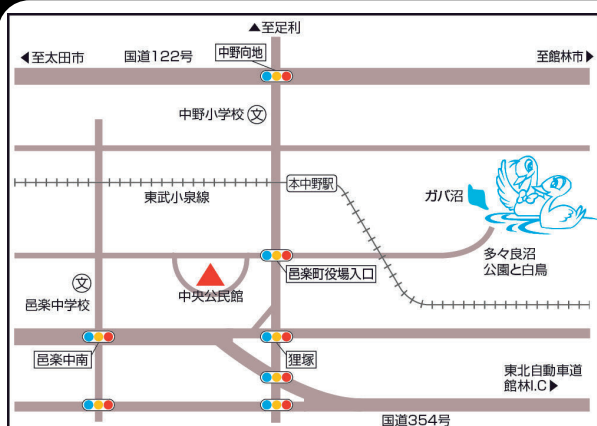
YUKIO YOKOYAMA

第12回ショパン国際ピアノコンクールにおいて歴代の日本人として最年少入賞を果たし、本格的な演奏活動を始めた。それ以来数々の賞を受賞し、クラシック界のトップアーティストとして常に注目を集めている。2010年ショパン生誕200年を記念して行われた14時間に及ぶショパンピアノ独奏曲全曲演奏会「入魂のショパン」はギネス世界記録に認定され、翌年には遺作を含む全独奏曲演奏会で自らのギネス記録を更新。2019年の第10回記念公演では、ショパンが生涯で作曲した240曲の全ての作品（独奏曲、協奏曲、声楽曲、室内楽曲）を3日間で演奏するという前人未踏のプロジェクトを大成功させ、その記録をDVDとしてリリース。また、2013年よりスタートした横山幸雄のもうひとつのライフワークともいえるシリーズ「ベートーヴェン・プラス」や、「4大ピアノ協奏曲」演奏会などに加え、ベートーヴェン生誕250周年にあたる2020年には「ベートーヴェン：ピアノ・ソナタ全32曲連続演奏会」を行い、2日間でソナタ全曲を演奏する偉業を成し遂げ、その模様が全て収録されたDVDを発表。最新CDは昨年サントリーホールでのデビュー30周年記念公演のライブ録音「横山幸雄ショパンピアノ協奏曲第1番&第2番他」（ソニー・ミュージック・レーベルズ）。積極的な演奏活動以外に教育者としても数々の実績を残している。また、東京と京都にレストランをオープンし、音楽と旬の食をテーマに新しい音楽の楽しみ方を提供。近年では自ら主宰するピアンカーラサロンの様々な企画や、ライブ配信「マイハートピアノライブ」を毎月行うなど、音楽プロデューサーとしても活躍。数々の音楽大学で客員教授として教鞭を取り、また故中村紘子女史の遺志を引き継ぎ日本パデレスキ協会会長を務めている。

オフィシャルサイト <https://yokoyamayukio.net>



©ZIGEN



おうらまち
邑楽町中央公民館

群馬県邑楽郡邑楽町大字中野2569-1

(邑楽町役場となり)

0276-88-1177

邑楽町中央公民館HP

